

IP電話対応マルチ端子板 IP-10BTシリーズ

取扱説明書

このたびは、IP電話対応マルチ端子板をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

■安全のために必ずお読みください。

警告

- ・本製品を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となる場合があります。
- ・濡れた手で本製品やケーブルに触らないでください。本製品が回線に接続されている時には、感電する恐れがあります。
- ・本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。火災、感電、故障の原因となる場合があります。

注意

- ・本製品を水分や湿気が多い場所、直射日光の当たる場所、ほこりや湯煙などの多い場所に設置、保管をしないでください。故障の原因となる場合があります。
- ・本製品を不安定な場所への設置、保管をしないでください。落下により故障、破損の原因となる場合があります。
- ・本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。故障、破損などの原因となる場合があります。
- ・配線には必ず、心線径φ 0.4～φ 0.65の単銅線を使用してください。それ以外の電線を使用した場合は故障、破損などの原因となる場合があります。
- ・本製品へテレホンコードを抜き差しする場合は、必ずプラグ部分を持ち、無理な力を加えないでください。故障、破損などの原因となる場合があります。

HMJ

株式会社 八光電機製作所

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-7-11

TEL 03-5614-7585 営業部

FAX 03-5614-7722

URL <http://www.hachiko-denki.co.jp>

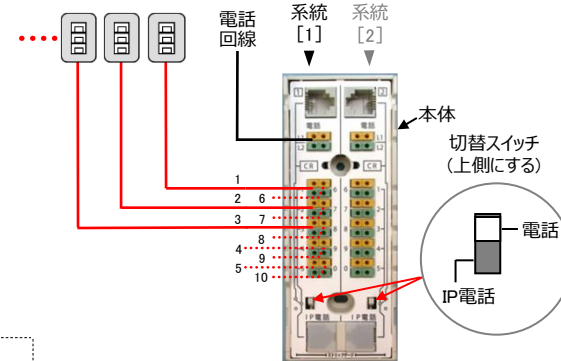
(2014-04)

■電話回線の場合…初期設置時

- (1) ご使用前に電話回線の系統 [1] or [2] を確認してください。
- (2) 切替スイッチが“電話”側であることを確認してください。

注意！ 切替スイッチが“IP電話”側になっていると通話が出来ません。

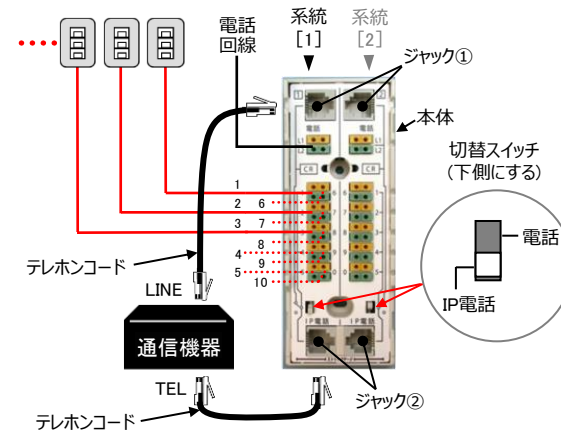
- (3) 電話機の接続は、1電話回線につき3台までです。
- (4) 機器は2台以上同時に使用できません。



■ADSL・VDSL電話の場合…1系統分の接続手順を示します。

- (1) ご使用前に電話回線の系統 [1] or [2] を確認してください。
- (2) テレホンコードを2本用意してください。
※両端RJ11(6極2心モジュラープラグ)付きコード
- (3) 通信事業者等から提供された通信機器を確認してください。
- (4) 本製品のカバーを外してください。
※カバー内の配線に触らないよう充分に注意してください。
- (5) 1本目のテレホンコードで本体の“ジャック①”と通信機器の“LINE”を接続してください。
- (6) 外したカバーを本体へ取り付けてください。
- (7) 2本目のテレホンコードで本体の“ジャック②”と通信機器の“TEL”を接続してください。
※通信機器の取扱説明書をご確認の上、正しく接続してください。
- (8) 切替スイッチを“IP電話”側にしてください。

注意！ 切替スイッチが“電話”側になっていると通話が出来ません。



■光IP電話の場合…1系統分の接続手順を示します。

- (1) ご使用前に電話回線の系統 [1] or [2] を確認してください。
- (2) テレホンコードを1本用意してください。
※両端RJ11(6極2心モジュラープラグ)付きコード
- (3) 通信事業者等から提供されたONUを確認してください。
- (4) テレホンコードで本体の“ジャック②”とONUの“TEL”を接続してください。
※ONUの取扱説明書をご確認の上、正しく接続してください。
- (5) 切替スイッチを“IP電話”側にしてください。

注意！ 切替スイッチが“電話”側になっていると通話が出来ません。

